

おいしいものの本 ~ 3, 4年生へ~

八千代市立図書館

つるばら村のパン屋さん

茂市久美子 / 作 中村悦子 / 絵 講談社 [913 モ]

くるみさんは、つるばら村で^{たくはい}宅配のパン屋さんをしています。ある夜のこと、レコードの乗った^{ちくあんき}蓄音器とつぼが届きました。つぼには「はちみつを入れて、レコードを^き聴かせながらパンを作ってほしい」という手紙がついていました（「はちみつのパン」）。おいしいパンが出てくる6つのお話が入っています。シリーズがあります。



ふしぎな木の実の料理法 (こそあどの森の物語 1)

岡田淳 / 作 理論社 [913 オ]

こそあどの森に住むスキッパーのところ、ある日ふしぎな木の実が届きました。ところが、その木の実の料理法が書かれている手紙が雪にぬれて、にじんで読めなくなっていました。スキッパーは料理法を知るために、こそあどの森の住人たちをたずね歩くことにしました。シリーズ10巻まであります。



はしれ! ショウガパンうさぎ

R. ジャレル / 作 長田弘 / 訳

G. ウィリアムス / 絵 岩波書店 [933 ジ]

お母さんが、^{むすめ}娘のメアリのために、うさぎの形をしたショウガ入りの菓子パンを作り始めました。ところが、作ったショウガパンうさぎをオープンに入れて焼こうとしたら、ショウガパンうさぎが逃げ出してしまいました。ショウガパンうさぎは、リスやキツネに助けを求めながら、^にどんどん逃げていきます。



注文の多い料理店

宮沢賢治 / 作 和田誠 / 絵 岩崎書店 [913 ミ]

ふたりの若い男が山奥を歩いていると、「山猫軒」という西洋料理店を見つけました。おなかがすいていたふたりがさっそく中に入っていくと、「かみをとかし、くつのどろをおとしてください」という注文が出されました。注文通りにして先へ進むと、また注文が出てきます。ふたりはどうなってしまうのでしょうか?



グラタンおばあさんとまほうのアヒル

安房直子 / 作 いせひでこ / 絵 小峰書店 [913 ア]

おばあさんは、アヒルの絵が描いてあるグラタン皿を持っていました。絵のアヒルはまほうが使えるふしぎなアヒルで、おばあさんはそのまほうにたよってばかりいました。そのうちにアヒルは、自分がいることはおばあさんのためにならないと考えるようになりました。そこでまほうでグラタン皿から出て、家を飛び出しました。



せかいいちおいしいスープ

マーシャ・ブラウン / 文・絵 こみやゆう / 訳 岩波書店 [E プ]

おなかをすかせた3人の兵隊が、ある村にやってきました。兵隊がくることを知った村人たちは、食べ物をみんなかくしてしまいました。村に着いた兵隊たちは、食べ物を分けてくれないかとたのみましたが、この家でも断られてしまいます。そこで3人の兵隊は知恵を働かせて、石のスープを作ることになりました。



~他にも、おいしいものの本~

・のぞいてみよう! 厨房図鑑

学研教育出版 [673 ノ]

・ハナさんのおきやくさま

角野栄子 / 作 西川おさむ / 絵 福音館書店 [913 カ]